

## 2023年度 卒業式・修了式 理事長挨拶

はじめに、ご多用にもかかわらず、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様には厚く御礼を申し上げます。

本日、卒業式の挙行に際し、学園を代表致しまして一言ご挨拶申し上げたいと存じます。

挨拶に先立って、本年1月1日の能登半島の地震により甚大な被害を受け、亡くなられた方に対し心からのご冥福を申し上げます。また、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに一日も早い復旧・復興を願っております。

コロナウィルス感染症が5類に移行し、このように通常の卒業式を行う事が出来ず事、大変喜ばしく思います。また、この卒業式を待ちわびておられた保護者の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

改めて、本日卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆さんが本学に入学すると同時にコロナ感染が拡大し、入学式も満足にできなかった事は、新入生を迎える学園としても、大変悲しい想いでありました。早いものであれから4年が経過し、無事にこの日を迎えられたことに感慨を覚えます。

世界を見ればロシアがウクライナに軍事侵攻して2年が過ぎ、パレスチナとイスラエルの戦争も収束する気配がありません。人間は何故このように戦争に突入してしまうのか、止められない無力さを感じ、またその連鎖に恐怖を覚えます。

話は変わりまして、本学園は昨年10月に創立100周年記念式典を無事に終了致

しました。その記念事業の一つであります百周年記念館が立派に建設されました。この記念館には体育館をはじめ多様な施設の他、研究室、各階には学生コモンズなどが用意されています。

学生時代は十分な使用が叶いませんでしたが、今後は卒業生として同期会や後輩との交流に大いに活用して頂きたいと思っております。また、この建設に当たっては教職員をはじめ全国の卒業生や保護者の皆様から多くのご寄付が寄せられました。この場をお借りし心から御礼申し上げます。

さて、今やスポーツは競技のみならず、人生のライフワークとして楽しみながら、健康維持増進のために多くの年代で実践されています。また、バリアフリーの競技も盛んにおこなわれるようになり、健常者も障がい者も皆スポーツを楽しむ総スポーツ社会になっております。皆さんは本学でそれぞれ専門的な学習をしました。これからは子供から高齢者まで、さらにはトップアスリートに至るまでの多くの人々に、これまで培った理論と実践を生かした活動を存分にして頂きたいと思っております。皆さんの活躍を大いに期待しております。

大学院を卒業なさる皆さんは、2年という短い時間で学部とは異なった専門的な学習をなさった事と思っております。そうして得られた知見は今後の活動に活かして頂くと共にさらになる研鑽を希望いたします。

本日卒業を迎えるにあたっては諸先生方の厳しくも思いやりに支えられての事と思っております。諦めずに努力してこの日を迎えられる事は大変重要な事です。学生生活を振り返り良かった事、また反省する点もあろうかと思っておりますが、スポーツで培った忍耐力、努力する精神、仲間との交流で得た寛容な心を持っていれば、この先の困難に打ち勝ち、進んでいくことが出来ると信じております。

日本のジェンダーギャップ指数は昨年 146 か国中 125 位と世界でも大変低く、未

だに男性社会であります。皆さんはそれにとらわれることなく、本学で学んだことに誇りと自信を持ち、怯むことなくそれぞれの希望する道へ進んで行ってください。

そして、保護者の皆様にはこれまでの学園へのご協力と卒業生への励ましに対して心からの感謝を申し上げたいと存じます。

結びにあたり、人生は忍耐と努力と思いやり、そして何事も諦めることなく、明るく前進あるのみ。皆さんへこの言葉を送ります。

令和6年3月15日

学校法人二階堂学園  
理事長 石崎 朔子